平成31年3月12日発行
第 2 号
協同組合東京都水道請負工事連絡会
〒103-0015　東京都中央区日本橋
箱崎町5番4号アライズ第2ビル3階
TEL　03-6264-9867
FAX　03-6264-9869
編集責任者　北澤　賢次
http://www.renrakukai.org

連絡会ニュース・春夏秋冬

平成31年　新春賀詞交歓会を開催

都議会公明党の議員団の紹介と
上下水道整備促進議員連盟のメンバーの紹介

吉倉正美顧問による乾杯と場内状況

緊急災害時に迅速な対応
メーターユニット改良工事は順調
来年度の工業用水切替工事に注目

協同組合東京都水道請負工事連絡会の平成31年新春賀詞交歓会が1月18日（金）午後1時00分から新宿京王プラザホテルにおいて開催された。組合員をはじめ来賓者含め100余名が出席した。貝澤理事長は、「緊急災害時に迅速な対応が出来る様、体制を整備していく」と抱負を述べ、組合事業としてのメーターユニット改良工事や工業用水切替工事に対して関係者への謝意を述べた。

賀詞交歓会は最初に貝澤理事長の挨拶から始まった。貝澤理事長は、新年の挨拶と出席のお礼を述べた後、次のように述べた。

『昨年は、「災」という漢字が選ばれたように、1月に東京で20㌢を超える積雪に始まり、地震が大阪・北海道で起き、記録的な猛暑・非常に強い勢力の台風の上陸等、大規模自然災害の多い年でした。

我々　都民の大切な水を守る者としては、更なる減災対策が必要であると認識をすると共に、緊急災害時に迅速な対応が出来る様、体制を整備していく所存であります。また、1月3日に震度6弱の強い揺れを観測した熊本熊本地方を襲った地震についても、翌1月4日朝に東京都水道局様にいつでも出動できる旨の連絡をいたしました事を、皆様にご報告させていただきます。

組合事業と致しましては、昨年度から受注いたしました株式会社キッツ様の自社製メーターユニット改良工事についても順調に進んでおります。これも、ひとえにここにお集まりの皆様の御尽力の賜物と感謝しております。

また、本日お越しの先生方のご尽力により、予算が減少する中、次年度から別予算で工業用水も新たに単契で施工することになりました。先生方、ほんとうにありがとうございました。

こちらの工事も減災の一つですので、どうぞ皆様ご理解・ご協力の程よろしくお願いいたします。』

続いて、都議会公明党上下水道整備促進議員連盟上野和彦会長が都議会公明党の議員団の紹介と上下水道整備促進議員連盟のメンバーを紹介、その後、代表して中島義雄公明党都議団長が次のように挨拶を述べられた。

『東京都内なら、どんな高い所でも、どんな低い所でも、どんな住宅密集地でも、同じように水が出る。当たり前のように思っておりますが、実は世界の都市の中でも稀有な都市だと思います。水道局の施設で、場所は言えないのですけれども、24時間、365日のコントロールセンターがありまして、この地域はこの時間帯は水の需要が減るしたがって、ポンプの圧力を下げなければならない、逆に、この時間帯はポンプの圧力を上げなければならない、そういうことを長年に渡って、やってきている結果として、水の安定供給が実現できているわけですが、それだけではなくて、皆様が工事を担当していただいた助力も背景にあるということで、常日頃から感謝を申し上げております。』

引続き来賓挨拶で中嶋正宏東京都水道局長は、次のように挨拶された。

『昨年、大阪北部地震、北海道胆振東部地震などの大規模な地震のほか、地震後における豪雨など、各地で甚大な被害を伴う事案が発生し、水道施設への被害が発生したのは皆様のご承知のことでございます。こうした状況を踏まえまして、当局としましては、これまで進めてまいりました配水管の耐震継手管につきまして、首都中枢機関や救急医療機関等の重要施設への供給ルートを重点的に現在進めております。また、給水管につきましても、私道内に複数埋設されました給水管を配水小管に取替える取り組みが、避難所における給水管を耐震化すること、及び応急給水栓を設置する取り組みを着実に進めているところでございます。さらに、応急給水体制の樹立等これまで以上に防災対策を強化させてまいります。』

この他に、水道局職員による情報漏えいについてのお詫びと水道法の改正についての協力要請を述べられた。

次に、増子敦史水道サービス株式会社社長は、次のように挨拶された。

『ここ数年、管工事の単価がすいぶん上がりまして、金額的にはそれほどの落ち込みは無いですけれども、延長がだいぶん減ってしまいまして、我々は水道料金を水道局から頂いて、それで管を耐震化して　いざという時でも、地震でも水道が使えるということを目指してやってきておりますので、是非、今年は、そういった管工事の延長が延びますことを祈念いたしまして、挨拶とさせて頂きます。』

次に、松田英行三多摩管工事協同組合理事長は、次のように挨拶された。

『昨年12月に改正水道法が成立いたしました。水道基盤の強化のうちコンペンション方式ばかりがクローズアップされておりましたが、老朽管の現状や更新の必要性が報道されました。そして、都民の皆様にそれらのことがPRできたと、これは大変良かったことではないかと思っています。また、我々にとっては、指定事業者制度が見直され、更新制度により、まじめに取り組む指定事業者が評価される運用を望むところでございます。

三管協では、昭和記念公園をお借りして、防災訓練を昨年実施しました。請負工事連絡会様には、応急復旧訓練に参加し、経験豊富な技を披露していただき、まことにありがとうございました。これからも隔年に開催する予定でおりますので、御指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

また、東京都の入札契約制度改革では、貴組合と連携し、知事に直接要望するとともに、都議の先生方のお力をお借りいたしまして、ほぼ我々の要望が通った形で、実施させていただいております。』

次に、宮崎文雄東京都管工事工業協同組合副理事長は、次のように挨拶された。

『昨年の業界の大きな朗報として、水道法の改正がありました。昭和49年以来、41年ぶりとなる大改定により、法律の目的が水道の選択的整備から基盤強化にシフトが移りました。指定事業者更新制度の導入もさることながら、事業運営の選択肢をしてコンペンション方式が導入された点が大きなポイントと思われます。しかしながら、どのような事業運営手法によるにせよ、水道施設の強靭性と機能性を維持確保するための現場力は不可欠であります。連絡会と私共の組合は、共にその使命を共有しております。今後とも、時代の変化等に伴う、様々な局面でお互いに協力することができれば幸いであります。』

引き続き、来賓の皆様の名前のご紹介をしたのち、当組合の吉倉正美顧問の乾杯で祝宴に入り、歓談の輪が広がった。また、歓談中、各協賛社の紹介があり、岩澤副理事長の中締め、閉会の挨拶で終了した。

第6期　第10回
協同組合東京都水道請負工事連絡会理事会報告

第6期　第1回　協同組合東京都水道請負工事連絡会　理事会は、1月18日（金）11時30分から　東京都新宿区西新宿2-2-1　京王プラザ4階　花で開催した。以下は、議事録の要旨である。

【出席者】代表理事　貝澤　一郎　（副理事長）岩澤秀光、高橋昌也（兼技術委員長）
役　員　中島義雄、大藤光一、尾畑浩一郎、長田大二、三浦良一、中川英樹、玉木正、杉本光信

1．賀詞交歓会　最終確認

当日の13時から開催する新年賀詞交歓会のタイムスケジュール・座席表の最終確認を行った。賀詞交歓会の収支予定は、若干予算より超過するとの報告があった。

2．工事別入札高について

キッツの改良工事は、順調に推移しており、計画より若干増加している。

30年度工事高について、12月末での事務手数料は、去年より70万円ほど減っている。昨年度より3%減である。種目別で前年同月比をみると、緊急は2%減、整備は10数%減、メーターは10%増えている。給水計では95・2%となっており、約5%減となっている。配水工事のうちA工事は41%増加、B工事は5%減少しているが、この内訳は去年にくらべてA工事は1社増、B工事は4社減なので、この数字は妥当と思われる。ちなみに、1社当たりの工事高で比較すると、A工事は6%増、B工事は8%増となっている。

入金ベースで各社ばらつきが出ているので、確定しないが、12月からは黒字転換していると考えられる。

3．その他

（1）次回理事会開催について

日時　平成31年2月8日（金）17：00～
場所　組合事務所

（2）組合新聞について

名称は「連絡会ニュース・春夏秋冬」とし、2カ月ごとに発行する。組合員への配信は、メールで行う。ホームページにも掲載し、1・2ページは誰でも閲覧可能にした。3ページ目は、組合員専用とし、売上状況や資格者情報、求人等も入れていきたい。組合員インタビューは幹部に回りたいと思っている。新聞の広告掲載は、協賛員提供している協賛社を考え、とりあえず無料にしたい。

TSR（協同組合東京都水道請負工事連絡会）では、

組合員を募集しています。

連絡先

TEL　03-6264-9867

FAX　03-6264-9869

第6期　第11回
協同組合東京都水道請負工事連絡会理事会報告

第6期　第11回　協同組合東京都水道請負工事連絡会　理事会は、2月8日（金）17時分から　組合事務所（中央区日本橋箱崎町5－4　3階）で開催した。以下は、議事録の要旨である。

【出席者】（代表理事）目澤　郎
（役員）屋畑浩一郎、黒田大二、中川英樹、杉本光信、久保勉
（副理事長）岩澤晃光、高橋昌也（兼技術委員長）
（総務厚生）石田強（委員長）、三浦良一

1．年末年始各招待会出席の報告
平成30年11月末から平成31年1月中旬までの期間内の都政報告会や賀詞交歓会等に8件分出席したことを報告した。

2．賀詞交歓会（1/18開催）の報告
皆様のおかげで1/18の賀詞交歓会については、滞りなく無事開催できたと報告した。

3．単価契約に関するアンケート結果の報告
アンケートは66社に依頼し、そのうち回収できたのは9社であり、28・8%の回収率であった。したがって、このデータをして、発注者への要望などの資料としては使えない。次回からは、回答率を上げるために支所会長からの案内にする案や1社毎廻って回答をもらう案などを考える。

4．工事別入金高について
キッツの改良工事は、順調に推移していると報告した。
30年度工事高について、1月末での事務手数料は、去年より80万円ほど減っている。12月同様で昨年度より3%減である。種目別で前年同月比をみると、緊急は4%減、整備は9%減、メーターは4%増えている。給水計では94・6%となっており、約5%減となっている。これらの数値は、12月の報告値とほぼ同じである。配水工事のうちA工事は27%増加、B工事は12%増加しており、B工事は12月より大幅な改善である。この内訳は、昨年度より業者数の変動があるので、この数値を1社当たりの工事高で比較すると、A工事は5%減、B工事は44%増となっている。これらの数値は、入金ベースで各社ばらつきが出ているものと思われる。

5．その他
（1）次回理事会開催について
日時　平成31年3月8日（金）17：00～
場所　組合事務所
（2）保険の選定について
「ソフィア保険」と「あんしん保険」から見積りの徴収ができたので、この2社より、保険を選定する。各社の対応能力等を比較検討し、「ソフィア保険」を選定した。保険の種類は、請負賠償責任保険（工事業者包括賠償責任）、完工高総額は50億円とした。
（3）予算について
収支表の購買収入や保険等が決まらないと確定出来ないので、今後執行部と協議しながら予算案を作成していく。また、次年度の企画案を計画し、それに関する予算も考えていくとして、次年度の予算案の方向性を協議した。

機関紙企画

栄進工業株式会社（三浦　良一社長）

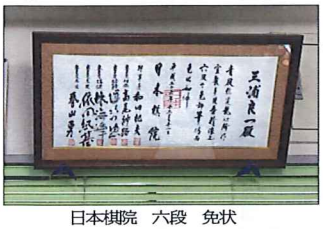
会社設立は先々代社長の家具屋から
緊急漏水の部門に興味

事務局
今回は、機関紙第2号のインタビューをさせて頂きますので、よろしくお願いいたします。まず、栄進工業㈱の創業のエピソードなどをお聞かせ下さい。
三浦
私は、昨年5月に社長に就任したので、先代オーナーから伺った話になります。
先々代は家具屋しかも製造をやっていたようですけれども、先代は、平野設備さんに勤めていて、それで、水道関係の仕事をやり始めたようです。そのころは、もう家具はやっていなくて、自社不動産の管理と水道の仕事が主体となっていました。私は、先代の社長と遊び仲間でして、それが縁で、23歳くらいに入社しました。それ以来、昭和63年までは、現場に出ていました。ちょうどそのころ、下請けの会社の社長が亡くなり、その会社を吸収して、本社を江戸川に移しました。
事務局
栄進工業㈱の名前の由来はお聞きですか。また、特色についてお願いします。
三浦
名前の由来は聞いていないですね。また、特色といっても、普通の会社ですけれども、ここの本社に引っ越してきたのは、目の前に水道局があったからです。「何でも屋」じゃないけれども、水道局に対してなんでもやろうということでした。昔は便利屋さんのようなこともやっていました。あんまり言えないですけれど、馬券を買ってこいと言われりゃ、土曜に錦糸町に走り、担当者の現場への移動を、他に分からないように送り迎えをしてたり、水道関係は、なんでもやるということでしたね。
事務局
会社の経営について、方針とか、考え方とか、差し障りのない程度でよいですが。
三浦
うちは、下水道はあまりやらないですね。出来ないことはないですけれども。また、案件毎については、以前に一度注した工事があったんですけれども、先代社長が、その工事を完工してから全然意欲がなくなり、その後、案件工事はほとんどやっていません。私は、案件工事を前向きに考えていきたいと思っています。今後、東京都水道局の行政には激変が起きるだろうと考えていて、水道業者は、緊急漏水の部門を持っていないと、生き残れないだろうと思います。そのためには、特定建設業の取得や大口径送水管工事の実績などが必要になり、それに向けた対応をしていきたいと思っています。また、整備工事についても、年間1社当り7千万程度の予算しかなく、この工事のみでは配置従業員を食べさせてはいけない。他の仕事をやらないとやっていけない。それで、従業員の定着率も悪くなる。今後、整備工事がこの程度の予算で推移するのであれば、また、人手不足により採用人員も増えないのであれば、緊急工事の方に切り替えていくことも考えていきたいと思っています。
事務局
次に、個人的な話題について、たとえば、水道技術の習得とか、趣味の話とか、お願いします。
三浦
私は、若い頃は、遊び上手で、そういうのを渡るのがうまくて、水道局でも「何でも屋」みたいなことをやっていたので、水道局の職員さんと非常に親しくさせてもらっていました。私が覚えた水道技術は、ほとんどその水道局の職員さんから教わりました。昔は、役人さんが直接穿孔をやったり、鉛管の接合もやってたようで、入社したころは、業者の施工でしたが、まだ、そのような役人さんがおられて、現場でいろいろなことを教わりました。それで、今の社員には、私が現場に連れて歩いて、教えていきました。

日本棋院段位六段
水道技術習得は水道局職員から

趣味については、囲碁が一番好きですね。囲碁は、うちの親父に教えられました。正座させられて、げんこつくらわされて、教わりました。おかげで、日本棋院の六段の免状を頂きました。最近は、碁会所は行く暇がないですけれども、毎月、月刊「碁ワールド」での懸賞問題に応募し、石は並べていますね。今の囲碁は、5年前や10年前の碁と全然違います。AIはまるで別ものです。昔、天才棋士藤沢秀行という人がいて、中国で囲碁を教えたのだけれども、その石の方向がAIそのものです。また、戦前に、呉清源と木谷實が新布石時代といって、いろんな実験をした時代がありまして、その当時の布石がすごいですよ。その呉清源の手が、今、AIそのものだったとの話もあります。その他に、武宮正樹という天才がいて、中国4千年の歴史の囲碁で「四隅とられて碁を打つな」という格言がありますが、彼は、武宮早由流といって厚みの碁を考え出して、平然と四隅を与えて勝っているんですよ。格言が変わったのですよ、「四隅取って碁を打つな」と変わった。囲碁はおもしろいですね。
その他の趣味としては、切手とコインの収集ですね。これらの収集は、集めるまでが楽しくて、集まっちゃうとあまり興味が無くなっちゃう。コインなんかは、甥っ子や姪っ子にあげっちゃった。切手は、使用済みが高いですよ。エンタイヤといって、使用済みの切手で、封筒に貼っていて発行したその当時の日付のスタンプを押してあって、どこで出したかはっきりわかっているのが、一番いいです。青島軍事というエンタイヤがあって、それは5百万円とかいう値段になるものもあります。ただ、好きじゃない人にとっては、ただの紙屑ですけれども。
事務局
日本棋院の六段はすごいですね。免状の写真を撮り、機関紙に掲載したいと思いますので、よろしくお願いします。長時間、ありがとうございました。

栄進工業㈱の本社前にて

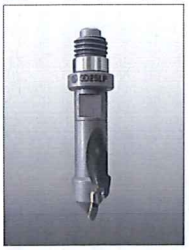

日本棋院　六段　免状

大肯精密株式会社
70周年大感謝セール
主要製品を10%引きで提供

穿孔機を主とする配管工具メーカーの大肯精密株式会社（大田区仲池上2－19－6）は1948年(昭和23年)に創業し、70周年を迎えました。現在、日頃のご愛顧への感謝を込めまして“大感謝セール”を2019年3月31日まで実施しております。セール期間中は水道穿孔機、コア挿入機、ドリル・カッター等の主要製品を一律10%引きでご提供しております。期間終了が迫っておりますが、是非この機会にご利用いただきますよう、お願い申し上げます。詳細につきまして、御気軽にお問い合わせください。

【問い合わせ】☎：03-3755-3311　FAX：03-3755-1918

コア挿入機
配水小管の分岐工事等に適した『A2SA2－10／15』（穿孔径75mm・100mm／150mm）
小口径の穿孔に特化した『A－4ホーク』（穿孔径20mm・25mm）
給水管取り出し工事に適した『A－2Rファルコン』（穿孔径20mm～50mm）


25mmドリル

50mmカッター